

取扱・取付設置 説明書 組立式フードボックス

このたびは、フードボックスをお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。



目次

△ 安全上のご注意	1
各部のなまえ	2
お手入れ方法	2
取り付け時の注意	2
組立て方	3
取り付け方法	3
製品寸法図	4

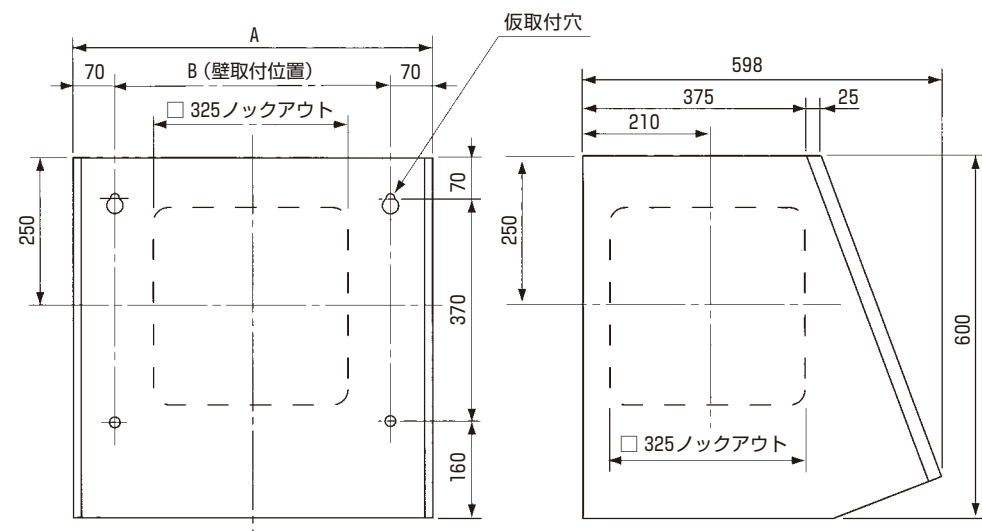
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

本書は取付設置後、施主様へ必ずお渡しください。

換気扇の取り付け位置調整

- 換気扇の位置とフードの角穴がズレている場合は金切りバサミで切り抜いてください。
- フードに設けられている角穴を使用しない場合や位置ずれにより壁面が見える場合は、市販されているステンレス板やアルミ板等を利用してください。

製品寸法図(取付寸法図)



	A寸法	B寸法
WBB-60※	600	460
WBB-70※	700	560
WBB-75※	750	610
WBB-90※	900	760

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

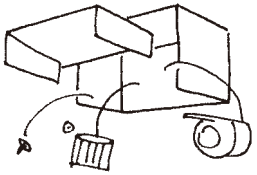
本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項		分解・修理・改造禁止		電源プラグを抜く
	指示に従う		接触禁止		水場での使用禁止

警告



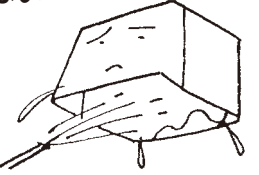
修理分解はしない



● 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。発熱したり、異常作動してけがをするおそれがあります。



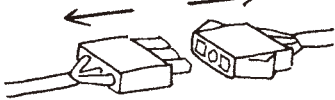
水をかけたりしない



● 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電や火災のおそれがあります。



お手入れは「切」にしてから



● お手入れ及び電球の交換の際には、本体のスイッチを必ず「切」にし、電源プラグを抜くか、又は電源用コネクターをはずしてください。さらに、分電盤のブレーカーを切ってください。（ぬれた手で触らないでください）感電のおそれがあります。



ガスもれのときはスイッチを入れない



● ガスもれの時は換気扇スイッチを入れないでください。スイッチ・モーターの火花によりガス爆発の原因となります。

注意



調理中や運転中に部品をはずさない

● 調理中や運転中にグリスフィルター等の部品をはずそうとしないでください。落下によりけがをするおそれがあります。



部品を扱うときは手袋使用

● 部品を取りはずすときや、洗うときは必ずゴム手袋を着用してください。金属端面などでけがをするおそれがあります。



運転中は指や物を入れない

● 運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。けがのおそれがあります。



羽根や部品の取り付けは確実に

● 羽根や部品の取り付けは確実に行ってください。落下によりけがをするおそれがあります。



電源プラグは確実に差し込む

● 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災の原因になります。



電源コードを傷めない

● 電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。電源コードが断線し、火災の原因になります。



電源プラグのお手入れを

● 定期的に電源プラグを抜き、プラグのほこり等を除去してください。湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

各部のなまえ

フードのお手入れ方法

- フードは非常に汚れやすいので、お早目に掃除してください。
- フード内部に付いた油分はいらなくなった布、紙等でふきとり、内部及び外観を中性洗剤を浸し、よくしぼった布でふき落した後、乾いた布で洗剤や水分をよくふき取ってください。（ガソリン、シンナー、アルコール、ベンジン等の溶剤や、ミガキ粉等はおやめください。）
- お手入れのときは、厚手の手袋を着用してください。薄板の切口などで手を切るおそれがあります。
- フード内部の換気扇の電気部品（モーター、スイッチ等）には絶対に水がかからないよう注意してください。

取り付け時の注意

- ① フード内部の温度は高くなりますので、樹脂製の換気扇では変形することがあります。25cm金属製換気扇をご使用ください。
- ② 取り付け高さは、レンジの真上80cmを目安に取り付けてください。また、フードの中心がガス器具の真上になるようにしてください。
- ③ 取り付け壁面の強度に十分ご注意ください。とくに土壁や合板張りの壁面は、強度が不足します。不足の場合は、補強材などで補強して取り付けてください。

- ④ ガス湯沸器の近くにお取り付けになる場合、湯沸器周辺はかなりの高温になりますので、湯沸器から左右50cm以上はなして取り付け、湯沸器の真上には取り付けしないでください。
- ⑤ お取り付けのとき、建物の金属部（壁面ラス網、断熱用金属板など）と接触しないように十分注意のうえ工事をしてください。絶縁させる必要がある場合は、換気扇取り付け時に絶縁枠をご使用ください。

2

フードの組立て方

＜注意＞

- 排気方向に合わせてノックアウト部をハンマーでたたいて打ち抜いてください。
- 表面に付いている保護フィルムを外してください。
- 製品が傷付かないよう梱包箱等を利用して、底に敷いてから組立ててください。

- ① 上の表示に注意しながら背面板を置き、背面板の固定片と側板の角穴を合わせながら、側板溝を背面板に被せる。背面板の底部と面一になるまで側板を下げる。側板中央の左、右各1ヶ所をねじ止めしてください。
- ② 天板後部の爪部を背面板上部の切欠き穴に差し込み、側板上部左右の穴にねじ止めしてください。
- ③ 前面板上部を天板のU部分に引掛け、側板の左右下部にフード内部からねじ止めしてください。

付属部品一覧

1) つば付ねじ	6本		（フード組立用）
2) タッピングねじ	4本		（壁取付用）
3) 平座金	2個		（壁取付用）

フードの取り付け方法

- ① 壁面排気口に木枠を取り付けてください。
- ② 裏面製品寸法図を参考にして、フードの仮取付穴位置に付属のタッピングねじを8mm位残して取り付けてください。このタッピングねじにフードを吊り下げてください。
- ③ 下方の取付穴は平座金とタッピングねじで固定してください。②の仮取付用タッピングねじを増じめしてください。
- ④ 排気口木枠に換気扇を取り付けてください。

3

1